

経営比較分析表（令和6年度決算）

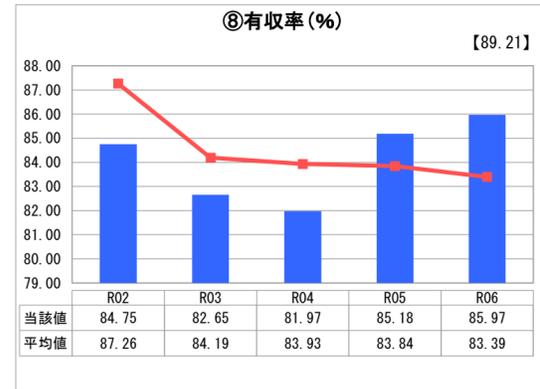
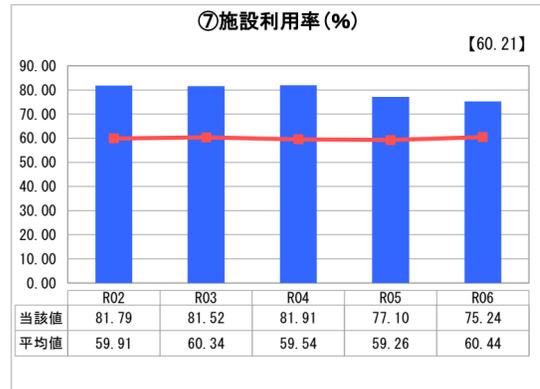
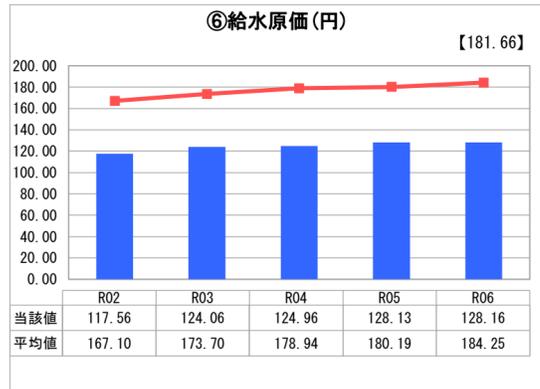
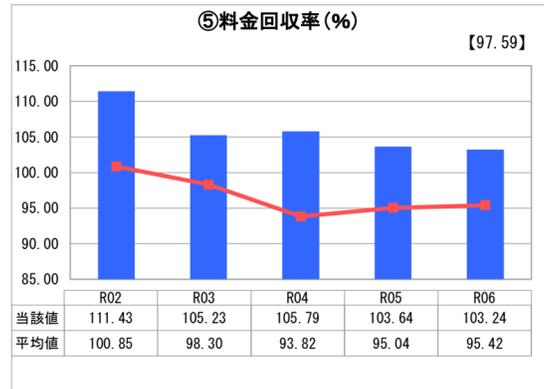
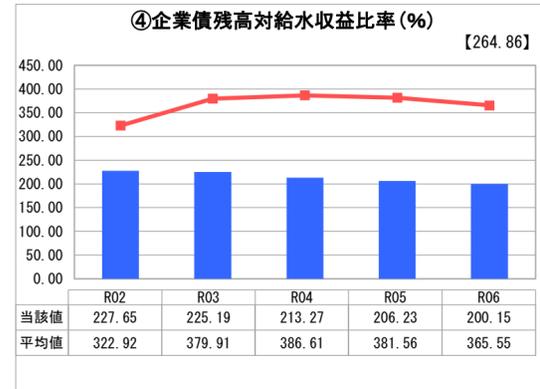
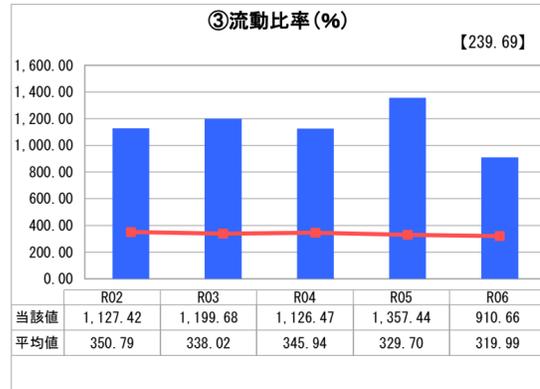
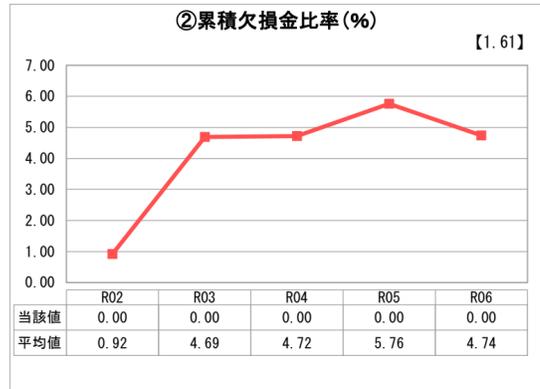
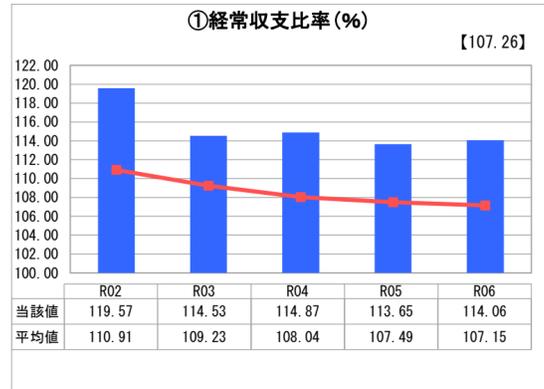
兵庫県 西播磨水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.67	100.00	1,823	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
47,313	41.03	1,153.13

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、給水収益の減で経常収益が減少したものの、減価償却費の減により、経常費用も減少したため、前年度から数値が上昇した。100%を超えており、経常利益が発生している状況である。
- ② 累積欠損金は、発生していない。
- ③ 流動比率は、100%を超えており、短期の債務に対する支払能力がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体の平均値と比較して低く、企業債残高が低く抑えられている状況である。
- ⑤ 料金回収率は、100%を超えている。
- ⑥ 給水原価は、有収水量が減となったものの、費用も減となったため、前年度からやや増加している。
- ⑦ 施設利用率は、年間総配水量が減少したため低下した。
- ⑧ 有収率は、有収水量が減少したものの、前年度に配水池等の漏水修理を実施して以降、無効となる配水量も減少しているため、数値が上昇している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較してやや高くなっているが、これは、施設整備を、高度経済成長期に行った結果、取水・送水施設の老朽化が進み、更新の必要があることを示している。
- ② 管路経年化率は、類似団体平均値と比較して僅かに低いものの、高度経済成長期以降に実施された大規模開発地内に布設された管路に加え、昭和55年度から開始した下水道管渠築造工事に伴い整備した管路が、耐用年数を超えるため年々増加している。
- ③ 老朽化が進み、漏水が多発していた地域で管路の一括更新を実施した結果、前年度比では数値が上昇しているものの、老朽化した取水・送水施設の更新を平行して実施しているため、全国平均と比較すると管路更新率が低くなっている。

全体総括

当企業団の経営状況は、類似団体の平均値と比較して、やや良好な状況となっているが、経年施設の更新及び耐震化が課題となっている。また、管路の経年化率も年々上昇しており、管路の更新計画も今後の課題となる。

人口減少により給水収益が減少していく中で、安心で安全な水の安定供給を継続していくため、重要度と優先度を踏まえ、計画的に更新事業を実施し、健全経営に努める。

2. 老朽化の状況

